

飲酒運転撲滅宣言企業 大善寺自動車学校



○ 大善寺自動車学校様の紹介

大善寺自動車学校は、主にこれから自動車免許を取得する人を対象として教育していくほか、既得免許保有者や高齢者講習・取消処分者講習などを行う運転者教育機関です。

企業HP :

<http://daizenji-school.com/>



○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ① 毎朝出勤時には、複数でアルコールチェックを行っており、異常の有無を確認しています。
平成24年に飲酒運転撲滅宣言企業に宣言登録して以降、アルコールが検知された職員はゼロで、現在も継続中です。
- ② 職員が飲酒運転撲滅のために真摯に取り組むよう期待を込めて、当校で作成した「飲酒運転撲滅協力者証」を全職員に配布し、飲酒運転撲滅施策の推進に積極的に取り組んでいます。
また、飲酒運転撲滅の意識を高めるため、全職員に「ハンドルキーパー・バッジ」、「ハンドルキーパー・キーホルダー」を配布しました。
- ③ 飲酒運転撲滅を呼び掛けるためのチラシを作成し、校内等に掲示しています。
また、卒業生等に配布したり、イベントやキャンペーンの際にも使用しています。
- ④ 地元の小学校に「飲酒運転」をテーマとしたポスターコンクールの参加をお願いしたところ、快く承諾を得て、2年生の児童から55作品が提出されました。
同作品は、平成24年12月～平成25年1月の年末年始の2ヶ月間、校内ロビーに掲示して来校者に対し優秀作品への投票を依頼し、交通安全協会や久留米警察署などの協力を得て審査した結果、4点の優秀賞を決定しました。
後日、優秀賞の賞状と全員に参加賞を渡し、全校生集会の場で伝達しました。
- ⑤ 当校では、これから免許を取得する人、既得免許保有者、高齢者講習、取消処分者講習などの教育機関としての企業活動を行っている以外にも、地域における交通安全教育センターとしてのボランティア活動も行っています。
これらの各活動の場においては、飲酒が運転に及ぼす危険性や悲惨さなどを解りやすく伝えていきます。



啓発活動も行っています！



講習の際、飲酒運転の危険性についても話しています。

○ 大善寺自動車学校の方にインタビューに答えていただきました！！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 平成18年8月に海の中道大橋で、悲惨な飲酒運転事故が発生しました。
その後も、現在では飲酒運転事故は減少傾向にはありますが、福岡県内で飲酒運転により検挙される件数および飲酒運転事故件数が、毎年全国と比較しても非常に多いことから、何かできないかと考えていました。
平成24年度に飲酒運転撲滅宣言企業の登録制度が始まり、その登録をきっかけに、本格的に飲酒運転撲滅のために取り組むようになりました。



「飲酒運転」をテーマとしたポスターコンクールを行いました！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A テレビや新聞などで、日々飲酒運転に関する報道が取り上げられていますが、以前に比べると、職員の間で話題になる機会が増えました。
また、当校の職員の約半数がお酒を飲むのですが、翌朝、アルコールチェックした際にゼロになるように、飲む量や飲む時間に気を使うようになりました。

出前型交通安全教室など、ボランティア活動も行っています！



Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 飲酒運転撲滅のための活動は、一時的なものではなく、継続的に行っていくことが必要だと考えています。

そのためにも、今後とも、教習や講習会での講話などで、飲酒運転撲滅に向けた取組を続けていければと思います。

また、当校の職員や卒業生が飲酒運転をしないことはもちろんですが、地域全体で飲酒運転が1件でも減少するように、広報活動に取り組んでいければと思っています。